

プロジェクト名 令和2年度第2回英語交流のまち lwakuni 創生プロジェクト検討会	
日時 2020年10月05日 13:30-15:00	出席者
資料 1.2019年度英語交流のまち lwakuni 創生プロジェクト体験活動一覧 2.2019年度におけるKPI(数値目標)の達成状況 3.整備スケジュールについて 4.整備基本計画の策定について 5.管理運営基本計画について	検討委員会メンバー： 岩野(座長)、浜桐、安堂、中邑、岡崎、波田、大岩根、二上、藏重、角谷、ソーレンセン(欠席)、竹田(欠席)
	岩国市教育委員会：教育次長(三浦)、教育政策課長(村上) 事務局：英語教育推進室(永木、中本)
	光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所(JMA)： 原、東條、藤江
	DMM.com：宇野澤、渡邊(オンライン参加)

Minutes

Note

<p>1.開会、事務局あいさつ</p> <p>【教育次長：三浦】(仮称)英語交流のまち推進センター整備にあたり、皆様のご協力のもと、2回のワークショップを行った。前回の検討会の内容を踏まえて、整備基本計画をまとめた。本日は更に忌憚のないご意見をいただきたい。ご協力をよろしくお願いしたい。</p> <p>2.議題</p> <p>(1)「英語交流のまち lwakuni 創生プロジェクト」について</p> <p>【岩野座長】基本方針が決まり、今後議題にあることが次々に実現していく。今回もご意見をいただきたい、よろしくお願いしたい。</p> <p>◆2019年度における取組事業について</p> <p>【事務局：永木】≪資料1≫子どもたちへの取り組みとして、各種イングリッシュキャンプ・日米交流ミニ運動会、市民向けの取組として、推進フォーラム・合同コンサート等を行った。資料には写真も掲載されているのでご覧いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、基本方針を策定した。今後整備していく推進センターを中心に計画を進める。 <p>◆2019年度におけるKPI(数値目標)の達成状況について</p> <p>【事務局：永木】≪資料2≫KPIは3つに分かれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPI1『「英語交流のまち」に興味や魅力をもって移住してきた転入者数』に関して、昨年度は10人を目標値としていたが、本年9月にアンケートを行ったところ、47人が『魅力を感じた』と回答し達成した。 ・KPI2『「(仮称)英語交流のまち推進センター」受講者における英語関連事業への新規就職者数』に関して、これは、センター開設後に確認をする。 ・KPI3『フォーラム及び同時開催イベント等への参加者数』に関して、600人と想定していたが、昨年は約1,200人が参加し達成した。 ・今年度も達成できるように努力していきたい。 <p>【岩野座長】今年度の活動一覧はどこかで提示されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる変更はあったか。 <p>【事務局：永木】活動一覧は前回の検討会で提示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(コロナによる変更に関して)基本的には行う方向で、感染対策をしながら実施した。 	
--	--

- ・現在は、基地内に入って活動できない状況なので、基地内で行う予定だったものは、多少変更しながら基地外で行えるものを実施している状態。
- ・秋の活動は、直近では10月23日市内のALTや国際交流支援員を活用して、その国の料理教室を行う。10月はフィリピン料理、11月はオーストラリア料理を予定している。
- ・翌年2月6日に推進フォーラムを愛宕スポーツコンプレックスで開催予定。11月1日に玖珂こどもの館でワンデイイングリッシュキャンプを実施する。

(2) (仮称) 英語交流のまち推進センター整備事業について

◆整備スケジュールの変更について

- 【事務局：永木】 ≪資料3≫本年度10月末までに整備基本計画を策定、11月以降実施設計を行い、来年度に保留床取得をし、工事に入る。
- ・第1回検討会では、(来年度)1月に供用開始を予定していたが、引き渡しは3月頃になるため、3月もしくは4月のオープンを予定している。

◆整備基本計画の策定及び進捗状況について

- 【JMA：原】 ≪資料4≫①第2回WSの報告、②交流を促す機能(コミュニケーショントリガー)の提案、③施設の平面計画の検討、④駐車場台数の算定、⑤管理運営基本計画について、の5点を説明。
- ・上記⑤はDMM宇野澤より説明。
- 【岩野座長】 2回のワークショップを非常に丁寧にやっていただき、施設の平面設計案を出してもらっている状況。実際に市民・外国人の方に使っていただく上で、意見・質問をいただきたい。
- 【中邑委員】 食べることが一番。トリガーに「飲食」があるが、ランチ・軽食の提供を検討する上で、実際に業者さんに話を聞いて、どのような意見が出ているのか、どのようなイメージか知りたい。
- 【事務局：永木】 まだ具体的には決まっていない。基本的には、軽食程度を考えており、ランチの提供までは想定していない。
- 【中邑委員】 由宇のふれあいパークでも飲食の業者と契約して提供しているが、結局採算が合わず、毎年業者が変わっている。
- ・その現状を踏まえると、利益率等を確保しないと業者としては入ってこれないと思う。始めたからには継続して(飲食提供を)行ってほしい。
- 【岩野座長】 ≪資料4≫P.12の図を参照。コミュニティスペースや屋外テラスも含めて飲食ができるのはこの辺りか。
- 【藏重委員】 シンフォニアの中にある飲食店が再開したが、メニューが非常に限られており、電子レンジで温めたようなものが出てくる。
- ・メニュー設定も契約と共に成り立っていると思うが、このような形ではだめだと思う。
- ・アメリカ人・日本人双方が好むメニュー、ランチでも限定したメニュー、他にないメニューが必要。
- ・業者も重要だが、どういったメニューを提供するかもとても大事。
- 【安堂委員】 トリガーの中で、岩国の昔からある遊びなどは考慮されているか。
- ・一般的なボードゲームもあるが、地域で昔ながらに遊ばれているものを取り入れてもよ

いのでは。

- ・周東地区にはカルタがあり、おそらく各地域であると思う。そのようなものを英語版にしてみるなど。
- ・飲食においても、各地域（の特産）例えば岸根栗等を踏まえて検討してもらえれば良いのでは。

【事務局：永木】現在は具体例のため、今後検討していく。

【岩野座長】一般的に人気のある遊びやボードゲームにするのか、それも入れつつ（岩国の）特色を遊びや飲食に取り入れるのかも、常設なのかも検討の余地がある。

【波田委員】日米のビジネスにつながるようなことは何か検討しているのか。

- ・例えば雇用のこと、「アメリカ人を雇いたいな」など相談できる窓口などがあればもっと活性化していくのではと思う。

【事務局：永木】機能の中にある「コンサルティングセンター」でできればと考えているが、今後検討する。

【岩野座長】≪資料4≫P.12 左側オレンジ色のところに「コンサルティング・ものづくり」スペースがあり、基本方針のところで色々な相談事（を受ける）といったアイデアが出ているが、このスペースで行うイメージか。

【二上委員】ものづくりのトリガーもそうだが、基地の外国人やインバウンドで来る人に記念になるものが提供できれば良いと思う。

- ・基地の人たちがよく集めている御朱印やお城印など、それを集めると全国を回れる。そういったものがあればよい。篆刻などもできればよいのでは。
- ・スペースに関して、コミュニティスペースは勉強に使ったり、Wi-Fiが繋がるので社員がここで仕事をしたり、気持ちの良いスペースなので年寄りが長居するなど、どのような想定なのか。

【事務局：永木】基本的に市の施設のため自由に入れるが、ある程度のルール作りはしないと機能を果たせない可能性もあるため、今後どうするか検討してく。

【藏重委員】トリガーについて、まず日本の文化、5節句に説明を付ける。例えば年間イベントや地域のイベントなど。

- ・訃報の際にたくさんいただいたカードの中に、真っ赤な太陽に向かって2羽の鶴がいて、それを見た日本人は結婚式かと思ってしまう。そういった間違った文化をここから発信したくない。
- ・十五夜など、正しい文化発信をここから定期的に行う。
- ・岩国発のものをトリガーに取り入れられると良い。

【岩野座長】トリガーに地域性が入ると良い。

【浜桐委員】岩国の人材を使うことも積極的に行った方が良い。

- ・ユニークなアイデアを持っている人や篆刻など、そういった岩国の方がワークショップを開いたり、気軽にマッチングができる機能や、Facebookでの発信、日米どちらからも情報を発信しやすく取り入れやすいような仕掛けがあると良い。

【藏重委員】金土日と文化活動が市民文化会館であったがアメリカ人が少なかった。

- ・ベースの人は基地外のニュースを知らないため、この施設ができれば岩国が発信地になるような仕組みづくりたい。

【岩野座長】バス待ちスペースが真ん中にあり流れていく、施設の流れについて。

【大岩根委員】どこに比重を置くか。稼働率の観点からも気になる。

【JMA：原】ワークショッブを踏まえ、できるだけフレキシブルに使いたいのので、セミナーがないときにはセミナースペースもカフェ利用ができる想定もしている。

- ・バス待ちスペースに関しては、空港行のバス待ちがメインになるので、比較的観光客が多く使用するのではと考えている。
- ・現状でそのようなスペースが無いので、バス停の前にただ立っている状況が見られる。そうした方たちが少しの間でもふらっと入り、ただ待つだけでなく、市民のものづくりの作品が飾られているギャラリーを見たり、岩国のイベント情報をちらっと見たりして、「次に来た時はこれに行ってみよう」など引っ掛けるものを用意しておく、化学反応のようなものが生まれるのでは、と想定している。
- ・比重としては、4つのターゲットのどれをメインにするか市と詰められていないので、今後設計の段階で深めていきたい。

【藏重委員】現在駅西側のバス待ちスペースには日本旅行などもあるが、差別化はそこか。

【事務局：永木】（駅西側バス待ちスペースは）ただバスを待つだけのスペースで、そこで交流が生まれるといった感じはない。

【藏重委員】（バス待ちの人は）時間を見て移動しているから、バス待ちスペースでの時間はあまりないのでは。

- ・バス待ちスペースもフレキシブルに使えるとはいえ、これでは少し広いのでは。

【事務局：永木】地元要望もあったため一部機能はここにとっておくことになっている。

- ・空港までバスで移動する人に関して、現在コロナ禍ではあるが、先日夜に確認したところ7～8人が外に立っていた。そういった方が中に入ってもらえて少しでもリラックスできるような、交流できるような施設になったら良い。

【藏重委員】バス待ちスペースに売店はあるのか。

【事務局：永木】飲食スペースはあり、まだ案の段階だが、出入り口のあたりでマルシェも行いたいと考えている。

【藏重委員】空港行バスの待合であれば、空港の待合にないものをここに置いた方が良い。

【安堂委員】飲食する人のベースをどのくらいとみているか、おそらく200人弱では難しいのでは。明確化しておいた方が分かりやすい。

【岩野座長】コミュニティスペースには何人くらい座れるのか。

【JMA：原】ソーシャルディスタンスを踏まえると、多くて20人前後と考えている。

【岡崎委員】《資料4》P.12の写真はどこ施設か。

【JMA：原】①飲食は、カフェに近いイメージ。日本では屋外テラスのある店が欧米に比べ少ないが、アメリカ人の方はそのような空間が好きであり、岩国は年間を通して気候が良いため、屋外テラスはしっかり整備していきたいと考えている。欧米の飲食店の写真を載せている。

- ・②遊び・ゲームは、先日広島視察に行ったが、最近ボードゲームカフェが流行っている。
- ・その場で初対面の人とゲームをきっかけに友達になったりすることもあるようなので、選ぶゲームによっては日本人だけでなくアメリカ人とも一緒に遊べると考え、そのよう

なイメージの写真を載せている。

・③ものづくりは、渋谷に「ファブカフェ」というものがあり、レーザーカッターや3Dプリンターが配置され、データを持参するとその場で加工ができる場所がカフェに併設している。

・④学び・情報発信は、アメリカの西海岸の事例を参考にしている。最近では、アップルストア等でも商品の使い方を説明する際に、大きなスクリーンに映してワークショップのような形で行っていることもあるので、マネできるのではと考えている。

【中邑委員】≪資料4≫P.12の右下の写真にスタジオがあると思うが、例えばNHK番組「英語であそぼう」の岩国版のような番組をつくったりできると良い。

・リモート英会話のような英会話の時間等があり、時間帯によって大人向け・子供向けの物があってもよい。

・リモートでつなぎ（本施設から）発信をして、市民にお知らせするなど。

・中学生向け・小学生向け・乳幼児向けなど分けていると良い。

【事務局：永木】オンライン英会話なども想定している。今後深めていく。

【中邑委員】駅東側の駐車場の状況はどうか。

【事務局：永木】現在、屋外平面に3台、道路を挟んだ所ガソリンスタンドの辺りに10台程度確保しようと考えている。

【中邑委員】岩国市役所のようにコインパーキングのような形か。施設を利用したら無料になるなど。

【事務局：永木】現時点では検討中。周辺にはタイムズなどのパーキングもあるので、ある程度は確保できると考えている。

【中邑委員】パーキングは有料にしないと、勝手に止められて使いたい人が使えなくなってしまう。

【藏重委員】交差点を渡って駐車場に行くのは不利。

・今、岩国市で流行っているところは全部パーキングからも近く、利便性が良い。

・利便性が悪くても行きたい、と思えるような魅力的なセンターにしなければ。施設の内容がより重要になってくる。

・無料で止められると便利なので、駅の利用者が停める可能性が高い。

【岩野座長】英語講座は、基本方針をつくった際に日本語講座など需要があったが、「ものづくり」よりはコンサルティング・生活相談、観光、職業、マッチング、コワーキングなどが出ていた。基本方針に戻ってほしい。

【二上委員】コンサルティングという名称よりは、インフォメーションの方が言いやすい。

【角谷委員】他自治体の例として、日本文化を学びたい外国人の方が、学んだ文化を英語で冊子にして小中学校に配布していた。それが、子どもに対してではなく、大人に対してでも構わない。

・逆に、日本人が英語で外国人向けの冊子を作る、ということもここでは出来るのではと考えている。

【DMM：宇野澤】≪資料4≫P.15～16 管理運営計画についての説明を行った。

【岩野座長】令和3年にPRを初めて令和4年にオープンとなるが、いつ頃から管理運営に入るのか。

【事務局：永木】来年度より準備があるため、夏頃に業務委託などを発注したいと思っている。

【大岩根委員】今後議論を進めていくうえで、どこに重きを置くか。

- ・ やってみて決めていくこともあると思うが、（内容が）多岐に渡るので大丈夫か。ある程度決めていた方が良いのでは。

【岩野座長】スペースも限られているため、今後（内容の）スリム化や重点化を行っていただければよいと思う。

【角谷委員】管理運営は地元の方がやるのか、東京等から呼んでくるのか。

【DMM：宇野澤】地元の雇用創出も重要と考えているため、管理運営は地元の方を考えているが、コワーキングやコミュニティマネージメントのための人材育成の部分も重要と感じる。

- ・ 準備段階から運営スタッフの（地元人材の）育成が必要と考えている。

【教育次長：三浦】指定管理者を市の方で決めて、その中で提案をいただいて方針を決めていく形になると思う。

- ・ 開館時間を何時から何時までにするか等の大枠は条例の中で決めていくことになると思うが、それが決まった段階で、提案者側からどういったことができるかを確認し採用していく。

【岩野座長】管理運営費の予算はどのくらいなのか。

【事務局：永木】本業務の中で試算するため、現時点では答えられない。

【二上委員】外国人を対象としたコンサルティングセンターの業務について、もし基地内の在籍者を対象とする場合、基地内で情報提供をしているところがいくつかある。是非、基地とも話して、本当に（基地の）外へ出て情報を得たいのか確認をした方がよいと思う。

【安堂委員】指定管理者が運営をするに際し、このような場で検討したことはどこまで反映されるのか。

- ・ イベントやその回数、トリガーの内容に関して、どこまで取り入れられるか。ずれてくる時があると思う。その時に、指定管理者に任せてしまうと、こうした会の意味がなくなってしまうのでは。

【教育次長：三浦】この会議の内容は、指定管理者を決める際の仕様書に入れると思うが、大枠の条例をつくり、「年に数回実施する」「こういったイベントを開催する」など仕様書に盛り込み、検討していただく想定。

- ・ 現時点では白紙なので、今後いかようにでもしていける状況。
- ・ どこまで縛りをかけるかも重要。

【中邑委員】スペースの貸出しについて、市が全てのイベントを企画するのは大変だと思う。

- ・ 例えば英語教室をしたい人に、いくらお金を徴収してスペースを貸出すようなイメージは持っているのか。妥当と思われる金額（月謝）など。

【事務局：永木】貸出し等は想定しているが、これからルールを決め、金額等も検討したいと考えているため、現時点では決まっていない。

【岩野座長】（スペース貸出しは）他の施設でも行っているのだから、やっていないことができた方がよい。

【藏重委員】 営利団体ではなく、一番の目的は岩国市が主導してきた「英語交流のまち lwakuni」の英語交流のまち推進センターであるということ。

- ・ 中国新聞や NHK のカルチャーセンターとは全く違うものであることを明確にすることが必要。
- ・ 地域での取り組みも必要だが、(目的と)ずれては困る。

【波田委員】「バス待ちスペース」があつていいのか疑問。

- ・ 移動中にバスを待っているときに、「ハロー！」と来られても、困るときもあるのでは。
- ・ バス待ちスペースという表現の仕方自体は趣旨がずれてくる気がするので、やめておいた方が良いのでは。賑わい創出空間とした方が良いと感じる。

【浜桐委員】 盛り沢山で楽しみではあるが、何にフォーカスするか。

- ・ アメリカ人来てもらうことが大事だと思うので、アメリカ人が来るものにフォーカスしていくと良いのでは。
- ・ アメリカ人が来れば日本人も来る。
- ・ 今は目的別に考えているが、もう少し絞れて行くとマルチパーパスルームのような大雑把な括りでもよいかも。しれない。
- ・ その中で人が集まりやすいもの・人気のあるものに向けて整備をしていく方向もあるので、流動性は残してあると良い。

【岩野座長】 日本人側の利用で考えると、幼・小・中・高校生とその親、若い世代がメイン。そうすると平日の夕方か土日となる。

【浜桐委員】 基地は土日に休みが多い。

【藏重委員】 基地の方の子どもは、皆さんが思っているよりも低学年が多い。

- ・ 個人的な話だが、21日(平日)に行うイベントは本当に実施するのか尋ねるとぴったり20人が集まった。水曜か木曜日は、幼稚園が長く見てもらえるため。
- ・ お母さん達だけを集めるのなら子供たちが学校に行っている時間が良い。学校は14:30には終わる。
- ・ ターゲットをどこにするか。

【岡崎委員】 ベースの友情ホール2階にはお母さん方が毎週のように集まっている。子育てクラブのようなものか。

【藏重委員】

- ・ 「鶴をアメリカのポストの中にいくつか折って入れてくれ」とベースの放送で伝えると千羽あつという間に集まる。そのように情報が歩み寄って行けると良い。
- ・ 情報になるキーパーソンを集める、日米で喜んで参加できるようなもの。

(3) その他

◆今後の予定について

【事務局：永木】 10月末までに整備基本計画を策定し、今後実施設計に入っていく。

- ・ 次回検討会 整備基本計画策定後、12月か1月に実施を考えている。
- ・ 実施設計を行う上で詳細の機能が出てくるため、その議論を行いたい。

(以上)